

令和6年度 西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
妊娠期から産後のママ支援事業「大人ママサロン」「フレフレ*ママ・パパサロン」		西区役所 子育て支援課					
事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6		
妊娠中または産後の母親とその家族が、相談しやすい環境と継続的な交流の場を得ることで、産後の孤立化や産後うつ予防につなげることを目的とする。	妊娠期から産後の母親とその家族を対象に、以下のサロンを実施する。 ・大人ママサロン 35歳以上の高齢出産の母親を主な対象とし、ベビーマッサージやベビーヨガ、ハワイアンリトミック、おしゃべり会(交流会)を各1回実施(合計4回)。また、各回で参加者同士の交流を通じて、ピアサポートと家族ぐるみの交流を促す。 ・フレフレ*ママ・パパサロン 年齢制限なく妊娠期から産後の母親とそのパートナーを対象に、助産師による産前産後ヨガを1回実施。心身のケアとともに、家族間および他の参加者との交流を支援する。	合計参加者数 (大人ママサロン・フレフレ*ママ・パパサロン)	99人	105人	94人		
		参加後アンケート結果 サロンに参加してよかったか「とてもよかった」「よかった」と回答した割合	100.0%	100.0%	97.2% (アンケート回答者数:37人・「ふつう」と回答:1人)		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
◎	出産前後の母親とそのパートナーが当事業の参加を通じて他の参加者との交流を深めることができる。特に、「大人ママサロン」で、高齢出産特有の不安や悩みを参加者同士で共有することは、ピアサポート効果があり、子育ての不安や孤立化の予防効果があるもの。また、アンケートで得られた意見を事業内容に反映しており、ニーズへの妥当性もある。	◎	地域で子育て支援活動をされている方に講師を依頼した。また、スタッフとして、常時、子育て支援課保健師、保育士、子育て支援コーディネーターが参加した。	◎	イベントを開催することで相談しやすい環境をつくり、保健師から産後の心の変化についての説明、子育て支援コーディネーターから子育て支援情報についての説明、保育士から乳幼児との過ごし方や遊びの紹介を行っている。また、毎回足型スタンプを実施することで、こどもの成長を実感していただき、複数回参加いただいた方などについては、回を重ねるごとに参加者同士の親交が深まり、ママ友としての交流に発展している様子がみられている。	○	広報さかいや子育てアプリなどを活用し周知することで申込者が定員を上回った。ママ友との継続的な交流や同世代の交流のきっかけとなり、子育て支援サービスや地域資源にもつなげられる事業である。対象者を特定する手法により効率的に働きかけができる事業である。
⑤自立発展性		総合評価					
△	参加者が将来の支援者側になることも期待できるが、当該事業は、産後の孤立化予防や産後うつの発症予防を目的としているため、行政が主体となって実施することが重要である。	○	アンケートで、「とてもよかった」「よかった」の割合は、98%であった。残り2%(ふつう 1件)について、「もう少し交流したい」というアンケートの記載があり、サロン後半の交流の時間を十分に確保するため、サロンの時間配分の改善が必要である。「大人ママサロン」では、参加者から「同世代なので話しやすい」「気分転換になった」「こどもとふれあえた」という声がきかれた。アンケート、参加者の声から、ピアサポート支援としての効果がみられたと考えられる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	アンケート結果から参加目的として、「同世代の方と交流」「こどもを遊ばせる」が多かった。今後も子育て中の不安や悩みを軽減できる機会を提供するため、対象者のニーズをふまえ、交流時間の配分を検討し、改善を加えながら、参加者同士の交流を図り、ピアカウンセリング支援を継続する。						